



第12回岐阜県障害者スポーツ大会春大会 「清流スポーツ大会」開催！！

過ぎしやすかつた季節も終わり、暑い日が続く毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。

ここ近年、障がい者スポーツを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

五〇年ぶりに改正された「スポーツ基本法」には、障がい者スポーツについても言及され、この四月からは、国の所管が厚生労働省から文部科学省に移管されました。

障がい者福祉施策として進められてきたスポーツが、ここ数年で大きく変革を遂げてきました。

本県のスポーツ振興計画についても、今年度新たに策定されるのを機に、障がい者スポーツについての記述が盛り

込まれる予定となっています。

また、一昨年のぎふ清流大会の開催、昨年には、二〇二〇年東京オリンピック・パリンピックの開催が決定するなど、スポーツに対する関心は高まっており、今年度からは、県の補助事業で、パラリンピック等出場選手の育成・支援を行っていくこととしています。

障がい種別を問わず、その適性に応じてスポーツに参画することができる環境整備と、更には、上位を目指す障がい者アスリートが一人でも多く育ち、活躍してくれることを願い、あいさつといたしました。



岐阜県障害者スポーツ協会
会長 松井逸朗

ぎふ清流大会から
一〇一〇年オリ・パラへ

第十二回岐阜県障害者スポーツ大会春大会「清流スポーツ大会」が、

四月から六月にかけて開催され、団体競技では車椅子バスケットボール、サッカー、バレーボール、フットベースボール等、個人競技では水泳、ボウリング、卓球、アーチェリー、陸上等が行われました。

個人競技については、第十四回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」に出場する県代表を、また、団体競技については「北信越・東海ブロック予選会」へ出場する県代表チームの選考を兼ねて試合が行されました。

全国障害者スポーツ大会に向けて競技力を高めるために日々の練習を頑張る選手、スポーツを通して多くの人と交流を楽しみにしている選手等、思いは様々ですが、この大会を通して、多くの障がい者が、スポーツに親しみ、社会の障がい者に対する理解が深まるこことを願っています。



【個人競技】

陸上

六月八日（日）に岐阜メモリアルセンター長良川競技場にて開催しました。

絶好のスポーツ日和の中、競走、跳躍、投てきの各種目を行い、身体障がい選手については、昨年秋に開催された地区体育大会で選考された方が出場し、知的障がいについては、各学校、施設等から申込のあつた方を中心に、選手・役員合わせて約四百五十名が参加し、この春大会の中で最大規模の大会でした。

各選手とも日頃の練習の成果を十分に発揮し、精一杯に、またのびのびと競技に取り組み、交流の輪も深まる一日となりました。

大会の最後には、恒例となつた地区ブロック別対抗リレーが行われ、各地区の参加者から熱い応援が送られる中、今年度は中濃ブロックが優勝しました。



春大会「清流スポーツ大会」開催！

水泳

五月十一日（日）、岐阜メモリアルセントラルセンター長良川スイミングプラザで開催しました。

身体・知的合わせて百名を超える選手が参加。



各選手は、日頃の練習成果を十二分に発揮し、自身の記録更新を目指すなどして取り組む中で、大会新記録も数多く生まれ、会場は大いに盛り上がりました。

は四名と少なく、同競技の更なる普及が必要と感じる一日でもあります。

卓球

五月二十五日、岐阜メモリアルセンターにて開催。障がい別に分かれ個人戦、団体戦を行い、どのコートでも熱い戦いが繰り広げられました。

選手の皆さん



の誇りを感じました。

別室では、視覚障がい者のサウンドボール「サウンドボール」とテニス（音の出るボール「サウンドボール」とラバーの張つてないラケット

は、様々な障がいとともに全力で競技に向かって、得点が入った時の全身全霊のガッツポーズは、選手として



を使用して、卓球台の上を転がして球を打ち合う競技)が行われ、選手の息遣いが聞こえるほどの緊張感がありました。

どの試合にも笑顔が溢れ、固い握手が交わされました。

卓球を通して、障がいを超えて、自分を超えて、人と人が繋がり合う素晴らしい大会となりました。

フライングディスク

六月八日（日）に岐阜メモリアルセンター芝生広場にて開催しました。

選手、競技役員合わせて約三五〇名の参加があり、陸上競技に次ぐ大規模な大会となりました。

競技は、的の通過枚数を競うアキュラシー（的までの距離が五m又は七m）と飛距離を競うディスタンスを午前・午後に分けて行い、たくさんの中学生ティアにもご協力いただきました。

ただいたお陰で、概ね予定どおり進行でき、参加された選手は日頃の練習の成果を發揮し、のびとプレーをされています。



ボウリング

五月十一日（日）瑞穂市の岐阜グランドボウルで開催しました。

今年は、三十五名の選手が参加され、全スポーツ長崎大会の出場権を懸け

た大会とあって、日頃の練習の成果を存分に発揮されていました。試合が終わった後は、良い成績を収められた人、そうでない人も一様に、笑顔で帰られる姿が印象的でした。



団体競技

車椅子バスケットボール

・開催期日 四月十九日（土）

・開催場所 岐阜メモリアルセンター
ふれ愛ドーム

・開催期日 四月二十日（日）
・開催場所 岐阜盲学校

グランドソフトボール

・開催期日 四月二十日（日）
・開催場所 岐阜盲学校



・開催期日 四月二十日（日）
・開催場所 島西運動場

サッカー

・開催期日 四月二十日（日）
・開催場所 しま清流スタジアム

ソフトボール

・開催期日 四月二十日（日）
・開催場所 しんせい運動広場

フットベースボール

・開催期日 四月二十七日（日）
・開催場所 山県市総合体育館



第十四回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」北信越・東海ブロック予選会

「長崎がんばらんば大会」への出場権を懸けたブロック予選の各競技に県代表チームを派遣。

バスケットボール（長野県）

五月十七～十八日

男女チームともに参加。



・優勝 男子 愛知県
女子 長野県

いずれも初戦で敗退。

フットベースボール（静岡県）

五月十八日

管内から六

チームが参加。
初戦は勝利し
たものの準決勝
で敗れ、結果、
3位に入賞



車いすバスケットボール（静岡県）

五月二十四～

二十五日

管内から八

チームが参加。

惜しくも初戦
で敗退し、涙をの
んだ。



聴覚バレー（静岡県）

六月一日

男女ともに参

加。男子は惜しく
も初戦敗退したも
のの、女子は順等



・優勝 男子 愛知県
女子 岐阜県

手にした。

・優勝 岐阜県
愛知、静岡、三重を破り、長崎
への切符を手にした。

サッカー（三重県）

六月十五日

六チームが
参加し開催。

・優勝 岐阜県
愛知、静岡、三重を破り、長崎
への切符を手にした。

県本県の男女各
3チームが参



ソフトボール（愛知県）

六月七日

七県一市の
対富山県、静岡
県、決勝では福井県チームを

破り優勝。
長崎大会への
出場権を手にした。

・優勝 岐阜県

男女とも優勝を果たし、出場権を
手にした。
・優勝 男子 岐阜県
女子 岐阜県

精神バレー（岐阜県）

六月二十一～二十二日



九県四市すべてから、十三チーム
が参加し開催。この大会で活気に溢
れた、健常者に引けを取らないブ
レーを何度も見た。

精神障がい者のハンディキャップ

は、他の障がいに比べて見た目に分
かりにくい。しかし、この大会を通
じて、この大会に参加する精神障が
いのある選手は、自分の障がいを自
覚し、真摯に生きている生活全般を
もっと楽しく、活力あるものにする
ため、胸を張って競技に参加できる
人が一人でも多くなるよう、精神障
がい者やその家
族に勧めていき
たい。

・優勝
(中村剛)
名古屋市



第 14 回全国障害者スポーツ大会 長崎がんばらんば大会 岐阜県代表選手一覧

個人競技						
	身体			知的		
	氏名	種目 1	種目 2	氏名	種目 1	種目 2
陸上	後藤 ふうか	100m	ソフトボール投	水野 佳奈	50m	200m
	脇田 治則	100m	ジャベリックスロー	横山 洋祐	走高跳	ジャベリックスロー
	日江井みね子	砲丸投	ソフトボール投	清水 倭平	ソフトボール投	ジャベリックスロー
	麻生みゆき	ソフトボール投	ジャベリックスロー	間垣 雄也	100m	200m
	岸野 楓	800m	ソフトボール投	大杉 優輔	400m	800m
	馬渕裕嘉志	50m	立幅跳	三上 啓汰	100m	走幅跳
	佐藤 猛	100m	走幅跳	牧野 巧己	100m	走幅跳
	北村 礼一	砲丸投	ジャベリックスロー	有賀陶太郎	50m	立幅跳
水泳	松井ゆづか	25m 自由形	50m バタフライ	伊藤 拓	50m 自由形	50m バタフライ
	後藤 陸斗	25m 自由形	50m 自由形	鈴木 琢人	25m バタフライ	50m 平泳ぎ
	荻原 久夫	25m 自由形	25m バタフライ			
アーチェリー	玉井 亨	リカーブ 50m・30m ラウンド				
卓球	戸田 百香	一般卓球		安藤 太志	一般卓球	
	八木 富枝	一般卓球		加藤 広樹	一般卓球	
	亀井 義春	STT				
フライングディスク	宮下 知子	アキュラシー・5m	ディスタンス立位	棚橋 里帆	アキュラシー・5m	ディスタンス立位
	小川 涼	アキュラシー・5m	ディスタンス立位	渡辺 大夢	アキュラシー・5m	ディスタンス立位
	加藤 嘉彌	アキュラシー・5m	ディスタンス立位	佐藤 由隆	アキュラシー・5m	ディスタンス立位
ボウリング				梅田 和将	ボウリング	
				兼安 一夫	ボウリング	
				穂高 太一	ボウリング	
	身体 18 名			知的 18 名		
個人競技 36 名						

団体競技						
ソフトボール	安田 亮	藤代 清明	馬淵 聰太	伊里 裕二	藤本 幸吉	下川 豪敏
	湊谷 彰	奥山 豊和	森川 和賢	葉山 優明	松井 俊樹	今瀬 賢三
	中島 哲生	吉川 幸司				
バレーボール 聴覚女子	武藤有里菜	横山 美香	河尻 奈美	服部 真弓	藤井 美緒	杉山 舞
	今井 優	江崎 美空	安江さくら	小川 舞夏	北川 七星	市原 美咲
バレーボール 知的男子	鷲見 雅	吉田 健人	柏谷 倭二	馬渕 龍也	樋口 慧	森 康太
	中田 浩樹	佐々木智也	馬渕 智也	岩田 駿人	沖田 圭亮	奥村 隼多
バレーボール 知的女子	小牧あづさ	奥山 翔子	中島 聖子	宇佐見 藍	加藤 祐有	永井 優花
	中島 夕貴	小倉 美里	三輪 瑞南	吉本 春香	並木 里歩	赤塚 優
サッカー	木野 友嘉	勝 光一郎	小栗 佑太	安藤 竜輔	高木 健護	岩井 大
	安藤 哲弥	下村 憲成	柘植 勝	熊崎 将大	坂 祐太	井元 郁也
	齋藤 秀平	前田 翔吾	吉崎 秀平	酒井 虎男		
団体競技 55 名						

「長崎がんばらんば大会」に向ける想い

陸上競技

脇田 治則（本巣市）

私は、長年スポーツに携わり、第十二回の「ぎふ清流大会」では炬火ランナーにも選ばれ、思い出深い年となりました。

今回の第十四回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」は原点に戻り、百mとジャベリックスローに挑戦し、新たな年として、悔いのない大会にしたいと思します。

水泳競技 伊藤 拓

（可茂特別支援学校）

僕は、水泳を五年ほどやつてきましたが、こんな大きな大会へ行くのは初めてです。岐阜県代表としてベストをつくしたいと思っています。

僕は、クロールとバタフライに出場するので、今のペストライムより一秒でも二秒でも縮めたいと思っています。そうすれば、全国で一位も

夢ではなくなつて現実になるかもしないので、休まずに泳いでいきたいです。

アーチェリー競技 玉井 亨（山県市）

私は、第九回の新潟大会、第十回千葉大会、第十二回のぎふ清流大会に統いて、全国障害者スポーツ大会に出場するものが今回で四回目となります。

最後に出場させていただいた第十二回のぎふ清流大会では、不本意な成績に終わってしまい、大変悔しい思いをしました。

そして、その悔しい思いをバネに、今は中池公園アーチエリーアー場を中心に、日々練習を行っています。

第十四回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」では、日頃の練習の成果を十分に発揮し、より良い成績を収められるよう頑張りますので、応援よろしくお願ひします。

岐阜県障がい者スポーツ教室開催

アーチェリー教室

七月十二日（土）、瑞浪市民アーチェリー場で開催しました。

講師には、瑞浪市アーチェリー協会の水野利之氏をお招きし、アーチェリーの基本ルールから安全面や実技に至るまで、初めての参加者にも分かりやすく、丁寧にご指導いただきました。

まだまだ競技人口が少ないこの競技ですが、パラリンピックの正式競技にもなっています。

是非、チャレンジしてみてはいかがですか。

卓球教室

七月十三日（日）、岐阜経済大学を開催しました。

西濃卓球協会の木村隆氏を講師に迎え、初めての方から上級者まで楽しめるようご指導いただきました。



【今後の日程】 ・フライングディスク教室

開催期日 八月九日（土）
開催場所 中池公園陸上競技場



・水泳教室

開催期日 九月七日（日）
開催場所 岐阜メモリアルセンター

ここ近年、障がい者スポーツの世界は加速度的に変化を遂げています。ご案内のとおり、この四月から障がい者スポーツについても、文部科

省に移管され、「障がいの有無によらず、誰もがスポーツに参画すること」ができる環境を整備することを基本的な政策課題として、障がい者スポーツの推進が図されることと

障がい者スポーツの動向

第 14 回全国障害者スポーツ大会

卓球競技

八木 富枝（揖斐郡）

今回初めてこの大きな大会に参加することになりました。

私は右足義足になつた後に卓球を始め、先輩方の教えや支えのおかげで楽しさを実感しています。

長崎大会では、どんな感動やふれあいがあるか期待の中、こんなチャンスをいたことに感謝しながら、出

場するかぎり、日々の練習の成果を発揮できるよう、自信をもつて臨みたいと思っています。

フライングディスク競技

棚橋 里帆

（つくしんば）

昨年の六月に、岐阜県障害者スポーツ大会春大会に出場し、初めてフライングディスクの楽しさを知り、強化指定選手に登録ということで、練習にも参加し、記録も伸びるようになりました。そして今年の六月に、岐阜

県障害者スポーツ大会春大会に出場して、あまり実力を發揮できませんでしたが、第十四回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」の選手に選ばれた時は、初出場なのでとても嬉しかったです。

大会では、練習の成果を生かし、自己記録とメダルを目指に頑張ります。

バレー ボール 知的女子

奥山 翔子（関市）

新潟で行なわれたブロック予選では優勝することができ、全国大会への出場を決めることができました。

昨年の全国大会では悔しい思いをしましたが、その分、

今年は勝つて、メダル獲得・優勝を目指します。

チームの皆で協力し、力を発揮できるように、キャラクターとして皆を励ましていきたいと思います。そして常勝東京チームに勝ちたい気持ちが強くあります。

なっています。

また、二〇一二〇年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する閣僚会議でも、「障害者スポーツ等の推進」が明確に示されており、政府の基本方針二〇一四にも、東京大会等を契機として、スポーツを通じた街おこしやバリアフリー対応、障害者スポーツの推進が閣議決定されています。

岐阜県障害者スポーツ指導者協議会

六月二十八日（土）、岐阜県障害者スポーツ指導者協議会理事会及び総会が開催されました。

今年度は役員改選期にあたり、新会長に石橋雅英理事（岐阜）、副会長には、和田喜代晴理事（中濃）、樋口みゆき理事（西濃）が選任されました。

監事には、引き続き西川見義氏（西濃）が選任され、今まで理事を務められた林俊美氏（西濃）と伴野芳幸氏（東濃）が退任し、新たに、楠田真之理事（中濃）と加藤軍男理事（東濃）が選任され、新たな体制でスタートしました。

監事には、引き続き西川見義氏（西濃）が選任され、今まで理事を務められた林俊美氏（西濃）と伴野芳幸氏（東濃）が退任し、新たに、楠田真之理事（中濃）と加藤軍男理事（東濃）が選任され、新たな体制でスタートしました。

これからこの課題として、障害者スポーツ指導員が活動する場の確立や、生涯スポーツとして気軽に普段の生活の一部にしていけるような環境づくりをしていきたいと思います。

細江保雄前会長は、当協議会発足時（平成十六年）から会長として、障害者スポーツ指導員のまとめ役として指導育成にあたつてこられました。

今年も、初級指導員養成講習やスキルアップの研修会等を計画していますので、皆さんの参加をお待ちしています。



サッカー ワールドカップ出場

八月八日から八月二十六日までの間、INASサッカー世界選手権二〇一四ブラジル大会が開催されます。

この大会は、過日行われました二〇一四FIFAワールドカップブラジル大会の後に開催され、通称『もう一つのワールドカップ』と呼ばれる知的障がい者サッカーの祭典です。四年前の前回に続き、日本代表による知的障がい者サッカーの祭典です。

岐阜県から選手が出場します。

下村 憲成 氏（中津川市）

第十二回全国身体障がい者 グラウンド・ゴルフ岐阜大会

例年開催していますこの大会は今年で十二回目を数えます。

今年度は、次のとおり開催いたしますので、是非ご参加ください。

大会期日 十一月十六日（日）

開催場所 岐阜メモリアルセンター

申込期日 九月二十六日（金）

詳しく述べ、本会までお問い合わせください。

特に定員や期日は設けておらず、随时募集していますので、ご登録よろしくお願いします。

詳しく述べ、本会ホームページをご覧ください。

障がい者スポーツに興味のある方や、障がいのある方をサポートしてくださる方、地域の障がい者と交流を深めたい方などを求めています。

各種のボランティアは、直接、競技に関連することばかりではなく、競技場内での移動介助や選手への声かけ、大会運営業務など、様々な役割があります。

特に定員や期日は設けておらず、随时募集していますので、ご登録よろしくお願いします。

詳しく述べ、本会ホームページをご覧ください。

障がい者スポーツ ボランティアについて

ぎふ清流大会では、多くのボランティアによる支えが大会成功の原動力となりました。

本会では、県内の障がい者スポーツ振興を図るために、本会の組織下にボランティア委員会を設置し、各種大会でご協力いただけるボランティアを募集、登録し、活動の場の提供やスキルアップのための研修会などを実施していきます。

特別な資格や、経験、知識の有無は問いません。

障がい者スポーツを推進していくうえでは、無くてはならない制度です。

皆様のご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。

引き続き、会員を募集しています。

正会員とは、スポーツに取り組もうとする障がいのある方をいい、障がい者スポーツを支えていただける方を賛助会員としています。

障がい者スポーツを推進していくうえでは、無くてはならない制度です。

皆様のご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。

会員の募集について

区分		年会費	
正会員	個人会員	1口	1,000円
	団体会員	1口	5,000円
賛助会員	個人会員	1口	1,000円
	団体会員	1口	10,000円



編集後記

本会では、障がい者がより身近にスポーツを楽しむ機会の拡大を図るために、スポーツ用具の貸出を行つております。特に定員や期日は設けておらず、地域における各種スポーツ行事及び参加に伴う利用など、気軽にお問い合わせください。

また用具の他には、競技規則集のハンドブックも貸出していますので、競技の運営及び参加するにあたり、不明な点等がありましたら併せてご利用ください。

今号から広報委員会も新しいメンバーで組織され、紙面を「写真を多く読みやすく」と心がけています。みなさんのご意見、ご要望をお聞かせください。（遠山）